

ピアホームだより

2014. 4. 10

平成 26 年度始まる！！

3月8日特定非営利活動法人アドボケイト会理事会を開催し、25年度の活動のまとめと26年度事業計画を・予算を検討しました。

<25年度活動報告概要>

今年度、卒業生3人を送り出し、ピアホーム開所以来初めてと言える成果を得ることができました。

全ての方が振り出しに戻ることなく、アパート等次のステップに行かれたのは嬉しいことでした。中でも○田さんは、長年かけて結婚に漕ぎつけ、都営住宅暮らしを始めました。

私も嬉しさひとしおです。

一方、愛すべき市○さんは、アパート住まいをして時間をおかず、再入院となってしまうました。リトルハウス通所10年、2度の入院歴があり、状態が急変しやすい人です。どうして行くのが良いのやら？退院後を見守りたいですね。

新しい入居者を迎えましたが、ピアⅠは協調性がとりにくいメンバー構成となり、行事が成り立たなくなって来ました。その間に特異な方を引き受け右往左往してしまう等、難しい年であったと思います。

5月には満室の予定です。利用者が揃えば、また行事も成立するでしょう？

<事業計画・ピアホームの課題>

私も前期高齢者の仲間入りをして、後継者の育成が大きな課題となって来ました。幸い山縣さんという熱心な方を非常勤として迎えることが出来、今後一翼を担って頂けそうです。しかし、通過型グループホームの場合は、資格の問題もあり、私に替わる方を見つけ養成して行く必要があります。

<予算>

今年度、3人の卒業生が出て、その後の入居者が決まるまでに時間がかかったり、折角入居が決まったのに短時間で失踪したりで、安定運営ができませんでした。

当初から、予測していたことではありましたが、何とか赤字は免れたというところです。

これに比べ、次年度は安定した運営が見込

まれます。4月1日にリトルハウスの移転があり、新たにピアホームⅡの事務所も置かれることになりました。設備費も計上しています。

非常勤の林田さんが退職のため、新規の非常勤の方を募集中ですが、暫く2人体制でのいで行かなくてはならない状態です。

ピアホームⅡはアパートまで若干遠くなったので、今後は、事務所を効率よく利用して、利用者の訪問スケジュールを組み立てて行こうと相談しているところです。

パスカル「パンセ」を読む

「人間は、屋根葺き職人だろうとなんだらうと、生まれつきあらゆる職業に向いている。向いていないのは部屋の中にじっとしていることだけである。」

さて、障害者の方で、「疲れるから家でじっとしている方が良いという方」がいて、自らに照らしてかねがね疑問がありました。家でじっとしていることの辛さーを感じるからです。

果たして、障害者は違うのでしょうか？

4月のスケジュール

<4月5日>ピアホーム花見

<4月22日>移転内祝会